

ご近隣の皆様へ

戸田・グリーン企画建設特定建設工事共同企業体

### 3 耐火材の除去方法

(1)対象施設 ごみ焼却施設煙突部

(2)準備設備 煙突部の外周に作業用の足場、養生シート等を設置します。

また、作業中に飛散する石綿(アスベスト)を作業区域から外部に出さないよう、密閉し負圧状態を保つため、また、作業中に発生した粉じん等を高性能のフィルターを装備した負圧除じん装置にて粉じんを取り除き、外気にはクリーンな空気を排出するようにします。

併せて、作業後に作業服等へ付着した石綿(アスベスト)を作業区域から外部に出さないようクリーンルームを設置します。

(3)除去方法 ①除去する耐火材を湿潤化し、電動ピックにて耐火材を除去します。

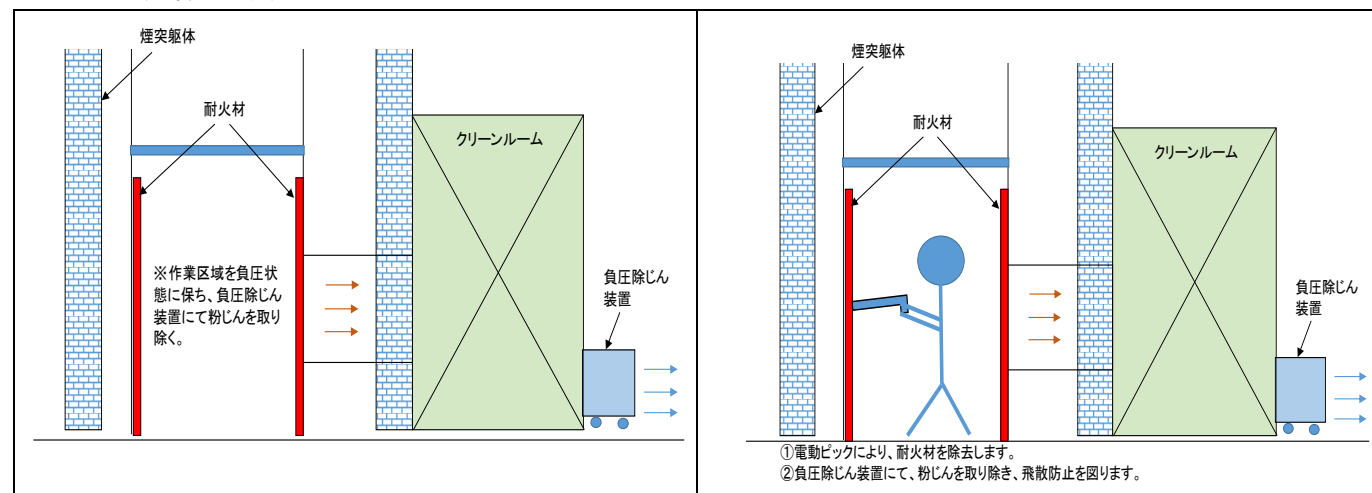
②除去した耐火材を固化剤にて固化し、2重袋に詰めて、結束バンド、養生テープを使用し密封を行い、特定産業廃棄物として適正に処分を行います。

③除去作業後の外壁及び作業区域について、真空掃除機により細かい残骸の除去を行います。

④除去した煙突内部について、確認後更に飛散防止を兼ねて、粉じん飛散防止剤の散布を行い、その後に施設の解体作業を行います。

⑤石綿(アスベスト)に係る除去作業終了後、当初から予定しているダイオキシン類の除染作業を行います。

#### (4)除去作業(例)



### 4 周辺環境保全対策

周辺環境保全のため、石綿(アスベスト)についての敷地境界線上及びクリーンルーム周辺での大気中のモニタリングを実施いたします。

モニタリングについては、除去作業前、作業中、作業後に行い、現場入口へ掲示する等の方法で数値を報告いたします。

作業中は、周辺環境へ特段の配慮及び措置を講じるとともに、解体作業中の安全確保に努め、適正な解体工事を実施してまいりますので、大変ご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんが、ご理解を賜りますようお願いいたします。

## 名取クリーンセンター解体工事に係る期間延長のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

現在着手しております、名取クリーンセンターの解体工事について、関係法令に基づき、事前調査を行ったところ、解体対象となる建物外壁に使用されておりました外壁材などに石綿(アスベスト)が検出されました。

今回検出されました石綿(アスベスト)につきましては、施設の外壁材(スレート材)、外壁塗料、煙突内部の耐火材となっており、現状の状態では、飛散性の無い形状の物で施設を稼働するうえでは問題はありませんでしたが、解体工事を実施するに当たり、事前に含有されている石綿(アスベスト)の除去を行い、その後に建物の解体工事を行います。

このことから、除去に係る準備や作業に時間を要しますので、解体工事の期間を延長し、周辺環境保全に対する措置や作業中の安全を確保しながら、解体工事を行うよう努めてまいりますので、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、ご不明な点などがございましたら、下記の連絡先にお問い合わせください。

#### 記

- 1 工事名称 名取クリーンセンター解体工事
- 2 工事場所 名取市愛島笠島字東南沢114 他
- 3 工事期間 変更前 平成29年5月31日から平成30年3月31日まで  
変更後 平成29年5月31日から平成30年7月31日まで
- 4 作業日及び時間 原則、月曜日から土曜日まで(日曜日、祝祭日は除く)の午前8時30分から午後5時まで  
(なお、朝礼を午前8時から行い、騒音の出ない片づけは午後6時まで)
- 5 発注者 亙理名取共立衛生処理組合
- 6 施工業者 戸田・グリーン企画建設特定建設工事共同企業体
- 7 連絡先

代表会社	戸田建設(株)東北支店
担当者	作業所長 加藤 英裕(かとう ひでひろ)
電話	022-397-7865(現場事務所)



# 石綿(アスベスト)除去に係る概要

石綿(アスベスト)除去については、次の作業を行います。

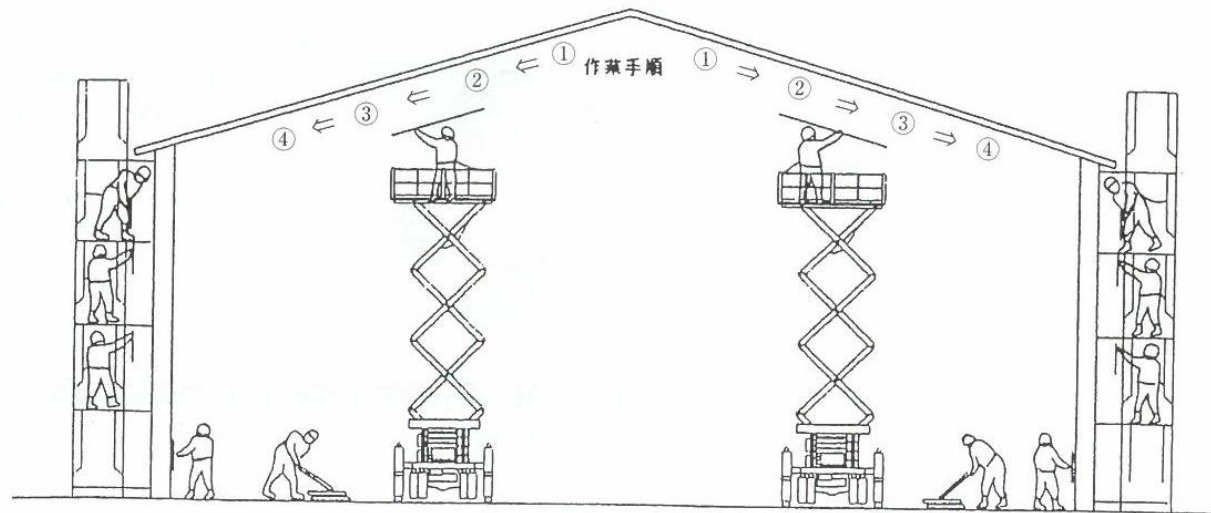
なお、周辺環境へ対する保全については、万全の体制を講じ、皆様へ安心していただけるよう努めてまいります。

## 1 外壁材(スレート材)の除去方法

- (1)対象施設 リサイクル棟及びストックヤード棟
- (2)準備設備 該当する施設外周に作業用の足場、養生シート等を設置します。
- (3)除去方法
  - ①外壁材(スレート材)に対し、湿潤化を行うため散水を行います。
  - ②湿潤化した外壁材(スレート材)を手作業にて、割ることの無い様慎重に1枚ずつ取り外します。
  - ③取り外した外壁材(スレート材)をコンテナ車で運搬し、特定産業廃棄物として適正に処分を行います。

### (4)除去作業(例)

#### 外壁材(スレート材)撤去作業(例)



### •湿潤化(散水)状況



### •外壁材撤去後詰込み作業



## 2 外壁塗料材の除去方法

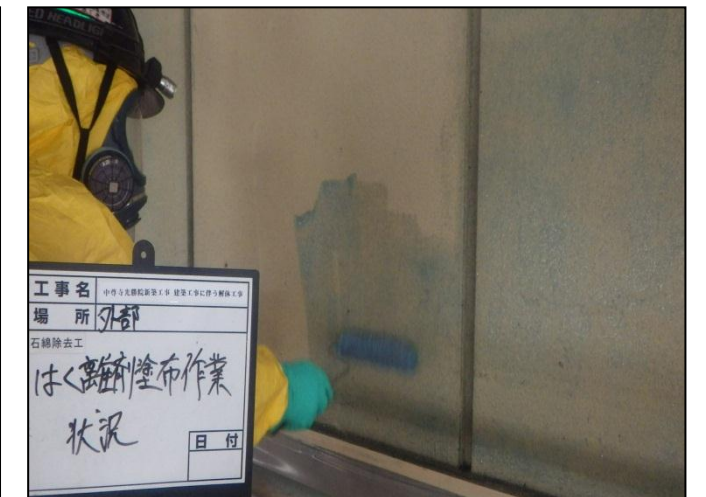
- (1)対象施設 ごみ焼却施設
- (2)準備設備 該当する施設外周に作業用の足場、養生シート等を設置します。  
また、作業後に作業服等へ付着した石綿(アスベスト)を作業区域から外部に出さないようクリーンルームを設置します。
- (3)除去方法
  - ①外壁塗料材に対し、除去する際に飛散をさせないように、はく離剤を塗布します。
  - ②はく離剤塗布後、数十分待機し、十分に浸透させた外壁塗料材をスクレーパーにて手作業で除去を行います。
  - ③除去した塗料材を2重袋に詰めて、結束バンド、養生テープを使用し密封を行い、特定産業廃棄物として適正に処分を行います。
  - ④除去作業後の外壁及び作業区域について、更に真空掃除機により残渣の除去・清掃を行います。
  - ⑤除去した外壁について、確認後更に飛散防止を兼ねて、粉じん飛散防止剤の散布を行い、万全を期して作業を行います。

### (4)除去作業(例)

#### •着工前



#### •はく離剤塗布状況



#### •スクレーパーによる除去作業



#### •除去後の状況

